

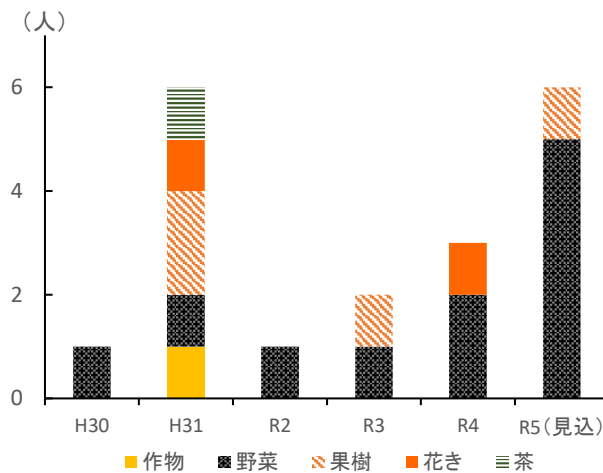
新規就農者の経営安定に向けた支援

対象者 管内新規就農者

管内では、平成30年から令和4年までの5年間で13名が就農され、令和5年には6名が新たに就農される見込みです。

各市で青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者に対しては、就農計画の目標が達成できるように、関係機関と連携しながら栽培技術や経営管理への支援を行っています。

今年度は、就農1年目の認定新規就農者を対象に、個別に普及指導計画に位置付けて重点的に支援するとともに、就農5年目までは、個別支援と集合研修を組み合わせ、経営が安定するように支援しました。



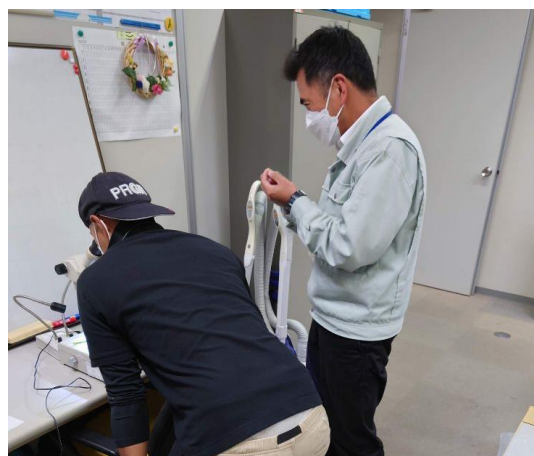
新規就農者数の推移と就農品目

就農1年目の新規就農者3名 ～農業経営の円滑なスタートに向けた支援～

青年等就農計画に基づき、それぞれの目標が達成できるように、各技術専門が担当となり、以下の活動内容で個別に支援しました。

- ・生育に応じた栽培管理
- ・観察に基づいた病虫害の診断と管理
- ・適正な労働配分や作業・技術の改善助言
- ・県内先進農家を訪問し、普及指導員以外の相談相手を紹介することによる不安の解消

経営品目は、施設野菜2名、施設花き1名で、栽培技術の習得による目標収量確保を共通課題とし、さらに就農者それぞれの品目や状況に応じた課題を設定しました。



キクの蕾の発達度合いを確認(C氏)

また、栽培のポイントとなる時期に適切な方法で栽培管理ができているかを定期的に振り返りながら、栽培技術が定着するよう支援しました。

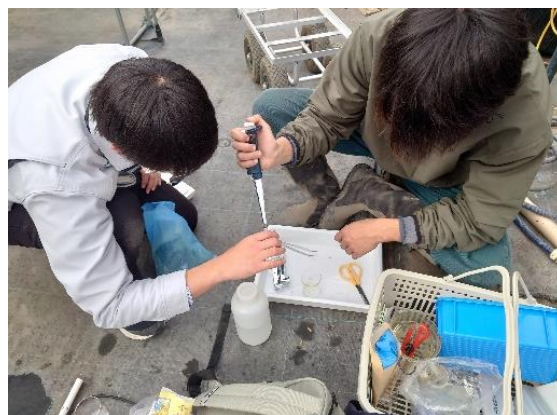
認定新規就農者を対象とした普及指導計画課題

	就農地	主な支援内容
A氏	甲賀市	施設トマトの収量確保
B氏	甲賀市	施設イチゴの苗数および収量確保
C氏	甲賀市	施設花きの収量確保および露地花きの収量確保

就農5年目までの新規就農者 ～早期経営安定に向けた支援～

就農計画の達成状況を振り返りながら、農業者自らが行う経営改善の取組を、次の内容の活動で支援しました。

- ・巡回による栽培管理技術習得
- ・サポートチームの個別訪問による就農計画達成状況確認と収支改善に向けた意見交換
- ・経営管理能力向上に向けた集合研修
- ・青年農業者クラブへの加入誘導とプロジェクト活動に対する指導



プロジェクト活動としてイチゴの栄養診断に取り組む就農青年を支援

認定新規就農者が早期に経営安定するためには、栽培技術の習得・向上だけでなく、決算書に基づいて経営の分析が行えるよう経営能力も養う必要があります。

そこで、まずは経営分析の基礎となる複式簿記の習得を目指した集合研修を連続講座で開催することとしました。連続講座には就農5年目までの新規就農者に加えて、令和4年度中の就農予定者や、農業後継者など13名が参加されました。参加した新規農業者からは、「複式簿記を身に着けて、判断力を養いたい」など意欲的な意見が聞かれました。

今後は、さらに経営能力を高められるよう個別相談による支援も行って参ります。



パソコン簿記の実例も交えた複式簿記指導

以上の取組の結果、就農年数に合わせた支援を行うことで、それぞれが現段階で習得が必要なこと、今後の目標とすることが明確化できました。今後も、野菜や果樹をはじめ新規就農者の増加が見込まれるため、引き続き、栽培技術の習得、経営力の向上、先輩農家との顔つなぎなど、経営安定に繋がる支援を行っていきます。